

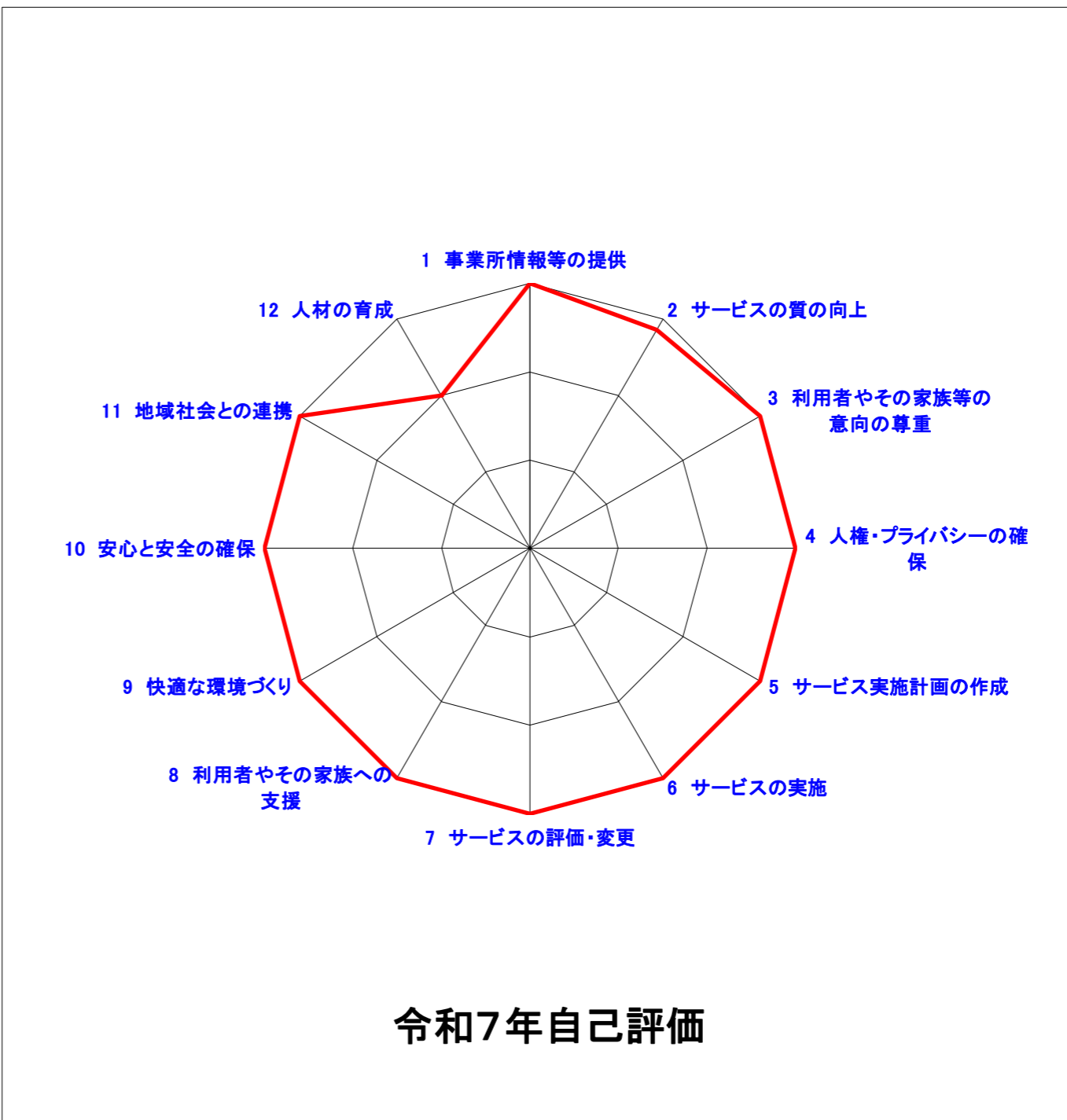


Nursing Home八千代台

(事業者番号: 1292600622)

看護小規模多機能型居宅介護

事業者名 一般社団法人 シニアの味方
事業所名 Nursing Home八千代台
サービス名 看護小規模多機能型居宅介護
評価委員構成 評価責任者:1名 計画作成担当者:1名 介護職員:2名 看護職員:5名
評価手順 12/23・24 各職員にて自己評価実施 12/25 自己評価実施後、自己評価委員会開催
自己評価年月日 令和7年12月25日
評価責任者 役職名 所長
評価責任者 氏名 鈴木 盛之



事業所の運営			
1 事業所に関する情報等の提供			
事業所のサービス提供に関する基本方針を職員及び利用者やその家族等に周知している。	A	B	C
事業所が行っているサービスの情報を積極的に提供している。	A	B	C
「事業所に関する情報等の提供」に関する特記			
2 サービスの質の向上			
サービスの質の向上を目的とした検討体制を整備している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に職員が参加している。	A	B	C
サービスの質の向上への取組に利用者やその家族等の意見を取り入れている。	A	B	C
サービスの質の向上に向けた計画的な取組を行っている。	A	B	C
職員の資質向上に向けた体制を整備している。	A	B	C
職員の研修機会を確保している。	A	B	C
職員に対するスーパービジョン(指導・助言)体制を整備している。	A	B	C
「サービスの質の向上」に関する特記			
中長期計画の策定を今後は実施していきたい。 職種・経験年数・技能に応じた個別研修計画を策定していきたい。			

利用者の尊重・保護			
3 利用者やその家族等の意向の尊重			
サービス内容の決定において利用者やその家族等の意向を尊重している。	A	B	C
利用者やその家族等からの不満や不服を解決するための取組を行っている。	A	B	C
行事やクラブ活動などへの参加や内容の決定に利用者の意向を尊重している。	A	B	C
「利用者やその家族等の意向の尊重」に関する特記			
4 人権・プライバシーの確保			
人権やプライバシー確保に配慮している。	A	B	C
個人情報の保護を徹底している。	A	B	C
身体拘束の弊害の正しい認識と廃止のための取組を行っている。	A	B	C
「人権・プライバシーの確保」に関する特記			
サービス実施過程の確立			
5 サービス実施計画の作成			
利用者一人ひとりの目標を明らかにしたサービス実施計画を作成している。	A	B	C
「サービス実施計画の作成」に関する特記			
6 サービスの実施			
サービスの標準的な実施方法を定めている。	A	B	C
利用者の状況などに関する情報を職員が共有している。	A	B	C
「サービスの実施」に関する特記			
7 サービスの評価・変更			
サービス実施に関する評価を行っている。	A	B	C
サービス実施計画の見直しを行っている。	A	B	C
「サービスの評価・変更」に関する特記			

サービスの適切な実施

8 利用者やその家族等への支援

サービスを個別・具体的に実施するための方法を明らかにしている。	A	B	C
余暇活動や生きがいづくりへの支援を行っている。	A	B	C
家族や友人等とのつながりを維持するための支援を行っている。	A	B	C
利用者やその家族等からの相談に積極的に対応している。	A	B	C
利用者の状況を利用者の家族等へ情報提供している。	A	B	C

「利用者やその家族への支援」に関する特記

9 快適な環境づくり

快適な生活空間(居室)の整備に配慮している。	A	B	C
快適な食事環境の整備に配慮している。	A	B	C
郵便や電話などの通信機会を確保している。	A	B	C
利用者の生活の範囲を地域へ広げるための取組を行っている。	A	B	C

「快適な環境づくり」に関する特記

10 安心と安全の確保

事故防止や安全管理を徹底するための取組を行っている。	A	B	C
事故や災害の発生時に適切に対応できる体制を整備している。	A	B	C
衛生管理などを徹底している。	A	B	C
利用者の健康保持に配慮している。	A	B	C

「安心と安全の確保」に関する特記

地域等との連携

11 地域社会との連携

事業所の役割を果たすために必要な地域の関係諸機関・団体と連携している。	A	B	C
ボランティアの受入に配慮している。	A	B	C

「地域社会との連携」に関する特記

ボランティアとの交流が不定期になっている為、定期的な交流機会を担保できるよう、調整していきたい。

12 人材の育成

実習生を受け入れる体制を整備している。	A	B	C
---------------------	---	---	---

「人材の育成」に関する特記

実習生の受け入れが行えていない為、専修学校への誘致活動を再開し、実習生の受け入れに努めていく。

総評

総合すると、概ね適切な事業運営が行えているが、中長期的な事業計画の策定が行えていない為、今後は事業計画を策定していきたい。感染症収束に伴い、ボランティア・実習生等の受け入れを再開しているが、遅々として進んでいない為、社会福祉協議会および専修学校への誘致活動を積極化していきたい。